

					行動計画			①平成30年度 重点取り組み項目(具体)	上半期の取組		⑤平成30年度下半期の取り 組み	年間評価		⑧備考 その他	行動計画	
					平成28年度	平成29年度	平成30年度		②平成30年度取組状況 (H30.8.1現在)	④問題点等		⑥ 達成度	⑦ 評価		平成31年度	平成32年度
		地域での実践を担う「人が育つ」 博物館へと進化	地域で活動する人の情報 交換の場づくり	課題別交流会の運営 ノウハウ確立	ピオトーブ運営者の交流会 (1年目:課題の共有)	ピオトーブ運営者の交流 会 (2年目:抽出した課題の 解決方法を共有)	ピオトーブ運営者の交 流会 (3年目:共有した解決方 法の実践結果の報告)	エコロジーが登録指導者 による、企業ピオトーブで の、企業担当者や協働し た活動者交流会の開催	活動者交流会の開催に 向けた企業担当者との打 ち合わせを開催し、交流 会の内容・日程などを調 整	開催後の反省 会 で問題点を 抽出する	・登録指導者による交流 会を、企業のピオトーブで 開催した ・参加者からのアンケート 調査データを基に、課題を 抽出した	100%	◎		ピオトーブ運営者の交流 会 (4年目:成果まとめと発 信)	新たな課題の交流会を設 置
			ウェブサイト「エコロし が」の改良				エコロジーがウェブサイト 再構築に向けた、改善案 と見積の作成	使い勝手の聞き取り調査 を踏まえ、改善案を策定 し、参考見積を業者に依 頼		・業者から参考見積もりを 提出してもらい、改善内 容の再検討を実施	100%	◎		エコロジーが改良案の作 成と予算要求	ウェブサイト再構築	
3. 利用者の利便性・快 適性を高める施設整備	ICTの活用	来館者が快適で楽しく情報を得ら れるシステムの整備	デジタルサイネージ	設置												
			多言語音声展示ガイド	ガイド整備			第2期分コンテンツ追加	コンテンツ追加	年度後半に実施予定							
	無料公衆Wi-Fi整備	図書館に整備														
	ユニバーサルデザイン の推進	誰でも安心して利用できる博物館	高齢者や福祉団体の休 憩室整備	第2期実施設計	第2期工事	第2期整備(完成)	4月にリニューアルオー プンする。	・4月2日 リニューアル オープン			【上半期にオープン完了】	100%	◎			
	誰でも容易に理解できる表示	わかりやすい館内サイン /多言語対応/読みや すい解説パネル	第1期整備 第2期実施設計	第2期工事	第2期整備 第3期実施設計	【第2期整備】 ・7月6日 おとなのディス カバリー、ディスカバ リー、ディスカバリール ームをリニューアルオー プンする。 【第3期実施設計】 ・4月20日 起工(上申) ・5月9日 フォーサル公 告 ・6月25日 契約締結、着 手	【第2期整備】 ・7月6日 おとなのディス カバリー、ディスカバ リー、ディスカバリール ームをリニューアルオー プンする。 【第3期実施設計】 ・4月20日 起工(上申) ・5月9日 フォーサル公 告 ・6月25日 契約締結、着 手		【第3期実施設計】 ・設計内容の検討 ・3月上旬 設計完了予定	100%	◎		第3期工事	第3期整備		
	利用者が参加する使い勝手の検 証			UD検討委員会	UD検討委員会	UD検討委員会	第3期実施設計の契約締 結後、UD評価を2回開催 する。	・6月25日 第3期実施設 計契約締結		・9月13日 第1回開催 ・12月18日 第2回開催	100%	◎		UD検討委員会	第3期整備	
4. 多様な主体との連携	地域との連携	地域の多様な主体との協同	地域と博物館の共同事 業の検討および宣伝	検討の開始	検討結果のまとめ	共同事業のアイデア 集を公開	共同事業の事例集を作 成、公開する。		アイデアより も事例紹介の 方が、共同事 業促進に有効 と思われるた め、事例紹介 とする。	・各学芸員に、事例紹介の執 筆依頼	60%	△		共同事業の事例集を公開	共同事業の事例集を増補・ 公開	
	学校との連携	学校による博物館利用の推進	地域を研究する中学生・ 高校生の交流会	博物館内での検討開始	学校教員とともに検討会 をつくる	交流会の立ち上げ 交流会の開催	はしかけグループ「琵琶 湖梁山泊」を立ち上げ、 活動する。	すでに立ち上げを完了、 琵琶湖の観察等の活動 を行っている。		・はしかけグループ「琵琶湖 梁山泊」を運営し、中高生 の研究活動を支援	100%	◎		年2回以上の交流会・ワー クショップの開催	年2回以上の交流会・ワー クショップの開催	
	関係団体との連携	環境問題解決のため試験研究機 関や行政との連携を強化	琵琶湖環境研究推進機 構への参加		「在来魚介類のにぎわい復 活に向けた研究」最終年 度」参加	新「在来魚介類のにぎわ い復活に向けた研究(第 二期)」参加	新「在来魚介類のにぎ わい復活に向けた研究 (第二期)」参加	他の研究機関と連携を 図りながら、担当学芸員 を中心に研究を行う	継続して野外調査を 実施した		・調査結果をまとめ、日本 地理学会、応用生態工学 会等で学会発表を行った	100%	◎		「在来魚介類のにぎわ い復活に向けた研究(第 二期)」最終年度	
			琵琶湖再生法関連研究		「外来魚駆除に関する研 究」最終年度	「外来水生植物駆除に 関する研究」参加	「外来水生植物駆除に 関する研究」参加	担当学芸員を中心に研 究を進める	外来水生植物駆除お よびその研究に参加		・外来生物駆除ならびに その研究に担当学芸員が 参加した	100%	◎		「外来水生植物駆除に 関する研究」最終年度	
		その他の連携		南湖の沈水植物に関する 研究(琵琶湖・琵琶湖研 究)	南湖の沈水植物に関する 研究(琵琶湖・琵琶湖研 究)	南湖の沈水植物に関する 研究(琵琶湖・琵琶湖研 究)	南湖の沈水植物の継続 研究調査を行う	南湖の沈水植物の継続 研究調査を行う	定期的な観測を行った		・2017年度の成果を日本 地理学会で発表し、今年 度は52観測地点での水 草調査を行い、現在デー タをまとめている	100%	◎		南湖の沈水植物に関する 研究(琵琶湖・琵琶湖研 究)	
		ILEC30周年記念展の実 施 試験研究機関連絡会議	NORNAC滋賀県大会開 催 試験研究機関連絡会議	試験研究機関連絡会議	10月の発表会に参加し、 博物館から1件報告する	発表者を選出し、発表 内容も確定した		・10月19日長浜ドーム にて試験研究機関連絡 会議で博物館が行って いる研究成果を1件口頭 発表した	100%	◎		試験研究機関連絡会議				
	他の博物館・美術館と連携し発信 力を強化	共同イベントによる博物 館の役割のアピール	佐川美術館との共同イ ベント	ICOM京都大会の準備、 県博協35周年記念事業	ICOM京都大会の準備 ICOM京都大会の準備	エクスカーションプロ グラムの準備と委員会 へのテーマ提案	6月に4館対応会議を開 催し、会議準備状況の 情報を共有		・12月に4館会議を開 催しLICO Mの自然史 博物館委員会の受け 入れ先となることを決 定	100%	◎	・関連予算申 請済み	ICOM京都大会			
	近隣施設と連携し地域の活性化 と集客増	イベントの共同開催や広 報における協力	鳥丸半島活性化協議 会への参加	イベントチラシ作成、ス タンプラリーの実施	チラシ作成、 共同イベントの企画・ 検討	共同イベントの実施(リ ニューアルイベント等 の共同実施)	スタンプラリーを2回 実施する。	夏にもスタンプラリー を実施		・スタンプラリーを実施	100%	◎		チラシ作成、 共同イベントの企画・ 検討	共同イベントの実施(リ ニューアルイベント等 の共同実施)	
	企業・大学との連携	訪問活動による連携と博物館利 用の促進	企業・団体等	リニューアルサポー ター・企業メンバーシ ップ・水積サポーター 制度による支援と博物 館利用の促進	県内拠点企業等訪問 企業の環境保全活動等 紹介	流域府県外の企業等 訪問 企業サポーター交流 会 企業の環境保全活動 等紹介	流域府県外の企業等 訪問 企業サポーター交流 会 企業の環境保全活動 等紹介	本社が関西の会社の訪 問を目指す。	環境に関心のある企 業に加え、県外本社の 企業も訪問		・京都・大阪の企業にも 訪問 ・トンボの展示を開催。 環境保全活動につい ては春に紹介予定	100%	○			
			大学・短大等	キャンパスメンバー ズ制度による学生の 博物館利用の促進	キャンパスメンバーズ 制度による学生の博物 館利用の促進	県内大学・短大等への 訪問	流域府県の大学等へ 対象拡大	県内大学への加入依 頼を行う	県内大学への加入依 頼を行う		・県内大学への加入 促進を実施	50%	△		流域府県外の大学等へ 対象拡大	
国内知名度の向上	ターゲットを想定し情報発 信			第1期リニューアルの情報 発信(京阪神の子連れ家 族)	第1期リニューアルの情報 発信(京阪神の子連れ家 族)	第2期リニューアルの情報 発信(+大人)	第2期リニューアルオー プンに伴い、県外はもと より、県内地元住民にも 広報を行う。	リニューアルオープンに 向け、県内新規住民等 へチラシを配布		・県内宿泊施設へのチ ラシ配架依頼、県内向け HPや情報誌への掲載 ・県外への折り込み 広告等を実施	100%	◎		第2期リニューアルの情報 発信(+大人)	第3期リニューアルの情報 発信(+地域)	
		魅力的なイベント開催に よるパブリシティ	リニューアル関連情報 の発信	第1期リニューアルオー プン20周年記念事業	東京「情報発信拠点」 の活用開始	第2期リニューアルオー プン記念事業	第2期リニューアルにあ わせ、博物館のイベ ントを開催していく。	イベントの検討		・樹冠トレイルのオー プニングイベント、 トレイルツアーを 実施	100%	◎			第3期リニューアルオー プン記念事業	
	定期的イベントによる 発信			びわ博フェス(仮称)ノ アトリウムコンサート	びわ博フェス(仮称)ノ アトリウムコンサート	秋の樹冠トレイルオー プニングに併せて開催 する	アトリウムコンサート やびわ博フェスの準備 を行った。		・アトリウムコンサ ート、びわ博フェス を実施	100%	◎		びわ博フェス(仮称)ノ アトリウムコンサート	びわ博フェス(仮称)ノ アトリウムコンサート		

					行動計画			①平成30年度 重点取り組み項目(具体)	上半期の取組			⑤平成30年度下半期の取 組み	年間評価		⑧備考 その他	行動計画	
					平成28年度	平成29年度	平成30年度		②平成30年度取組状況 (H30.8.1現在)	④問題点等	⑥ 達成度		⑦ 評価	平成31年度		平成32年度	
		「木から森へ」の博物館学の追求	博物館機能を活用した博 物館学研究の推進	博物館学研究領域を 中心とした方法の開 発		領域会議での検討	具体的な研究計画の検 討	研究テーマおよび内容に ついて検討し、計画を立 てる	個々に、研究テーマを提 示し、検討を行った	—	・今年度の研究成果を踏ま え、来年度の博物館で行う研 究調査を作成した	100%	◎		共同研究の申請	共同研究の開始	
研究成果の発信力強 化	一般向けへの発信		インターネットでの発信	研究成果に基づく情 報ページを開設			コンテンツ構成案を作 成	研究部のページを作成す る	コンテンツの考案と情報 の集積を行った	—	・研究部のコンテンツ考案を 検討中	70%	○		コンテンツ作成	ページ作成と公開	
			刊行物による発信	『琵琶湖博物館』を冠 にした一般書籍の発 行	出版準備(契約等)と 1～3巻刊行	4～6巻刊行と 講演会の開催	年2～3巻の刊行	第7-8巻を発行予定	7巻が発行	—	・8巻が発行され、9巻が編集 中	100%	◎		年2～3巻の刊行	子ども向けの読み物を検 討	